

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	松陰プラザ
住 所	函館市松陰町1-35
電話番号	0138-30-2323

事業所番号	111402004
管理者名	喜久川 三希子
対象年度	6年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：新函館農業協同組合 七飯宮農センター ・大中山農産センター花卉共撰場</p> <p>実地日程：令和6年7月1日～令和5年9月30日</p> <p>実施した生産活動：カーネーション選別業務</p> <p>施設外就労の概要：令和元年10月より渡島振興局による農福連携取組に参加。実習体験を経て、福祉事業所とJAとのマッチングにて5年目のJA共撰作業に参加することになった（2事業所合計利用者11名）</p> <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：企業側と福祉側それぞれの課題があり、双方が取組を通して農福連携について知ることができる。企業様のメリットとしては、繁忙期の人手不足解消や法定福利費のコスト削減となる。対象者（障がい者）にとってのメリットは、賃金向上や体力面、企業の社員さんと一緒に働くことにより一般就労に近い環境の中で勤務する機会となる。</p> <p><成果></p> <p>実施した結果：参加者がより一般就労に近い環境で働くことができ、就労に関する意識が高まった。</p> <p>得られた成果：参加者のうち6名が共撰作業後に一般就労へ移行し、その他の参加者も一般就労を目指し共撰作業後に他の施設外就労先で活躍している。</p> <p>今後の課題：一般で勤務しているパートさんと連携しコミュニケーションを取れるように努め、障がい者の特性を理解して頂けるような支援を行う必要がある。</p>	<p><活動の様子></p> <p>・農福連携の取組が函館新聞に掲載されました</p>  <p>・2事業所合わせて11名が選別作業を行いました</p> 
--	--

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】</p> <p>福)函館恵愛会との農福連携も5年目となり、利用者は10名以上の受入れを行い、それぞれの特性を考慮しながら作業配置を行いました。昨年については、経験者（2～3年以上）は一般従業員と共同作業をしていたが、今年（福)函館恵愛会のみ体制にて作業を行いました。選別未経験の利用者が多くいましたが、福)函館恵愛会職員のサポートもあり、選別作業は例年通りできたと感じています。また、この農福連携の経験をした利用者が一般就労につながっていることを聞きうれしく思います。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】</p> <p>農福連携強化の課題は、毎年選別経験がある利用者がきてくれるわけではない為、「未経験の利用者に合わせた働き方」と「作業の見直しによる作業効率の向上」が引き続き必要であると感じている。また、一般従業員（パート職員）と障がい者の円滑な連携を福祉施設職員を通じておこなっていく必要もある。</p>			
連携先企業名	J A新はこだて七飯宮農センター 生産施設課	担当者名	田代 慎太郎

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	松陰プラザ	事業所番号	111401642
住 所	函館市松陰町1-35	管理者名	喜久川 三希子
電話番号	0138-30-2323	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 : 松陰プラザ2F 実施日程 : 令和6年12月23日 活動内容 : 就活セミナー 利用者数 : 8名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>一般就労に向け日々励んでいる利用者様向けに、就職に向けての心構えや就職に必要な知識など、これからのステップアップの手助けとなるよう、今後の就労支援での対策・改善を身につけ一般就労への具体的なイメージを構築する。</p>	
<p><成果></p> <p>一般就職に向けて、自分は何をすればよいのだろう、どんなことに注意すべきだろう、会社からの配慮を受け雇用されるとはとどのようなことなのか等を考え、A型の職業訓練を活用し、ステップアップしていくという意識向上が見られた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

すてっぷの事例を通して、実際に働く方達や雇用している会社の生の声を見聞きし、就労についての心構えや必要な知識など、より具体的なイメージを掴み、自分の将来の希望や目標について考えたり、話し合ったりする機会として有意義な研修だったと思います。参加された方々にとっての「より豊かな未来像」を、ご本人、ご家族、支援者で共有しながら、松陰プラザでの計画的な支援や指導に活かしていただければと思います。

連携先企業（担当者） 道南しょうがい者就業・生活支援センターすてっぷ 小笠原 一郎

利用者からの意見・評価

利用者からの意見・評価

- ・ 職業準備性ピラミッドを自分に置き換えてみた時に、自分では一般就労ができる能力があると思っていたが、自分に足りない事として病状管理・日常生活管理ができていないから今の状態で一般就労は難しいんだと納得できました。
- ・ 一般就労をする際に、企業で働くには仕事をこなす能力が必要なんだと思っていたが、実際は欠勤・遅刻をしない事のほうが大事なんだと思いました。
- ・ 働く目的を考えた事が無かったのでこれから親や支援員の方たちと話をして考えて行きたいと思いました。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	松陰プラザ
住所	北海道函館市松陰町1-35
電話番号	0138-30-2323

事業所番号	111401642
管理者名	喜久川 三希子
対象年度	令和6年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出していない。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	150 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	57,907	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	13,948	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.2	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	31,512,801	円	利用者に支払った賃金総額	31,232,905	円	収支	279,896	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	40,691,908	円	利用者に支払った賃金総額	39,650,852	円	収支	1,041,056	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	52,585,909	円	利用者に支払った賃金総額	49,923,288	円	収支	2,662,621	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（6年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input type="checkbox"/>
-----------------------	--------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名	精神障害・人とのかわり方を知ろう
研修講師	吉田 尚教
実施日・受講者数	1月 30日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修、学会等名	陵北病院 リハビリ科
実施日	2月 13日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	福祉的就労の実践

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	(社)南高愛隣会 味彩花
実施日/参加者数	2月 19日 5人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名	ハートメイドマルシェ
主催者名	函館市
日時	10月 18日
内容	授産製品販売会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。